

Guest information

視察・講演企業のご紹介



生産性カイカク 研究会

第1回 2021年10月26日(火)【視察・講演】 愛知

 **株式会社丸天産業**
代表取締役 **天野 敬之** 氏
CS推進部 部長 未来企画室 室長 **竹内 理恵** 氏

働く環境を経営資源と捉え、 お客様のワークスタイルをデザインする

ワークスタイルデザイン: お客様の未来のありたい姿(経営戦略)を実現する為働く人の理想の働き方・働く環境と一緒に創造する。働く環境の構築、働く人の意識改革、運用・ルールの見直しなどをサポートし、生産性・創造性の高いワークプレイスをデザインする。お客様の文化に革新を起こし、真の意味での「お客様の一番の相談相手」となっている。

第1回 2021年10月27日(水)【視察・講演】 愛知


 **高砂電気工業**
Takasago Fluidic Systems

代表取締役社長(未来創造カンパニー長) **平谷 治之** 氏

変化の激しい環境にて 中小企業が生き残っていくための経営方針

細胞から航空宇宙まで様々の分野で高い技術力を生かし多角化を展開。流体の制御技術を提供し、世界の先端技術を支えている。さらなる技術革新とイノベーションを起こし続けていくことで生産性を上げている。社員のチャレンジ、生産性向上のポイントを学ぶ。


第2回 2021年12月21日(火)【視察・講演】 大阪

 **株式会社JRC**
代表取締役社長 **浜口 稔** 氏

作業現場の効率化・自動化の進め方

ベルトコンベアに使用されるローラー・プーリーの部品メーカーとして国内トップを走る同社。自社工場の設備自動化を積極的に行い設備自動化率は50%以上を誇る。同自動化により培ったノウハウをベースに、ロボットを活用しているメーカーならではの目線でロボットSler事業を展開。他社の設備自動化も手掛ける同社が、企業内DXを推進するポイントについて解説する。

第2回 2021年12月22日(水)【視察・講演】 大阪

 **三協則武鋼業株式会社**
代表取締役社長 **北 眞一郎** 氏 取締役工場長 **青木 信貴** 氏

単純作業の削減&付加価値業務を増加! 業務改善と現場DXの実例を紹介

生産性改革には、業務改善・デジタル化・社員の意識改革など総合的取り組みが必要だ。同社は2019年に業務のムダを洗い出す現状認識を実施、課題を可視化。部門の垣根を越えた業務改善施策を検討・推進する場として各部門長によるリーダー-MTGを開催。また鉄鋼業界にありがちなアナログ体質に負けることなく果敢にDX化にチャレンジ。オフィスや現場へのデジタル投資も積極的に行い、短期間で生産性改革を加速させている。

第4回

2022年4月19日(火)【講演】

東京



ハナマルキ株式会社

情報管理部 電算課 課長
森 香織 氏

ITツール導入による生産性向上

ハナマルキは大正7(1918)年創業の味噌醸造の老舗企業。伝統企業の枠にとどまらない挑戦を続け、経済的、社会的に優れた成果を挙げている企業を表彰する「グッドカンパニー大賞」の優秀企業賞を受賞されている。業務効率化、生産性向上のために2019年にITクラウドツールを導入。メール、共有ドライブ、スケジュール管理など各機能の進化に加え、スムーズなテレワーク化も実現。ITツール導入の背景、経緯、その導入にあたって全社への定着化の方策をご講話いただく。

第5回

2022年6月21日(火)【視察・講演】

岐阜



株式会社

関ヶ原製作所

代表取締役 矢橋 英明 氏 現場改善チーム

人づくり×会社づくりで事業創造に取り組む 「人間村カンパニー」

「日本一のニッチのデパート」を志す関ヶ原製作所では、サブミクロン単位の精度が求められる精密石材製品から、船舶用クレーンやトンネル掘削機などの大型製品まで、多種多様なオーダーメイド製品を展開。基盤となる人づくりのために「学び舎」「技術村」「文化村」という3つの村の村活動を実施。「匠道場」「技術大会」での技術力のイノベーションやそれぞれの活動を通じて社員一人ひとりが人間力を高め、高い生産性を実現している。

第4回

2022年4月20日(水)【視察・講演】

東京



三島食品株式会社

関東工場 工場長
川中 有弘 氏

4S・見える化による生産性向上と品質の向上

三島食品では「良い商品を良い売り方で」を基本方針に掲げ、自然を尊び自然に学び自然に順ずる心持ちを経営の根本に据えて食品づくりに努めている。確かな「生産体制」と「衛生管理」を核に据え、特に「目で見える管理」をキーワードとした工場運営を土台に、生産性カイカクを実現。FSSCシステムや品質情報を盛り込んだ独自の生産情報システムを柱とし、生産工程で品質を作りこむ体制を整えている。



現在ゲスト講師交渉中です。

Coming Soon

研究会の詳細は、こちらをご覧ください